

報告第 3 4 号

平成 1 5 年 1 0 月 9 日承認

市民部会国際交流分科会の事務事業調整方針について

市民部会国際交流分科会の事務事業調整方針について別冊のとおり本協議会に報告し、その承認を求める。

平成 1 5 年 1 0 月 9 日提出

津地区合併協議会

会長 近 藤 康 雄

報告第34号

協 議 会 報 告 項 目

市 民 部 会

国際交流分科会 6-3

津 地 区 合 併 協 議 会

## 項 目 一 覧 表

通 番	項 目 名	幹 事 会 提 案 日			幹事会確認日	備 考
		1回	2回	3回		
6 - 3 - 1	国内交流事業	7/17			7/30	
6 - 3 - 2	国際交流推進計画	7/17			7/30	
6 - 3 - 3	三重県国際交流財団	7/17			7/30	
6 - 3 - 4	公共施設等の案内表示への外国語併記	7/17			7/30	
6 - 3 - 5	三重県日中友好協会及び日中友好促進三重県民会議	7/17			7/30	
6 - 3 - 6	国際交流事業（姉妹都市交流事業）	7/17			7/30	
6 - 3 - 7	国際交流事業（友好都市交流事業）	7/17			9/18	
6 - 3 - 8	国際交流一般事業	9/13			9/18	協議会協議項目

## 津地区合併協議会 調整内容表

協議項目		専門部会	市民部会
関係項目		分科会	国際交流分科会

区分	構成市町村の現況					
	津市	久居市	河芸町	芸濃町	美里村	安濃町
1 国内交流事業	<p>1. 友好都市上富良野町交流事業 目的…本市の先人が開拓し、歴史的に深い繋がりを持つ上富良野町との間で、青少年交流や各種民間団体等による市民レベルでの交流を行い、友好を深めるとともに、両市町の発展と振興を図る。</p> <p>事務協議関連事務 …議会・行政関係者が相互に訪問し、市民間の交流を促進する事業の検討など、今後の交流のあり方について協議している。</p> <p>民間交流支援事務 …こども会交流や姉妹校交流、スポーツ交流や商業関係団体等による物産面での交流など、青少年をはじめ市民レベルで幅広く交流が行われている。その際に、団体間の連絡や、市政だよりへの関連記事掲載を行うなど、交流を側面的に支援している。</p> <p>2. 日本三津交流事業 (1)まつり交流 ・福岡市、坊津町、津市の代表的なまつりに参加し相互交流を行っている。(博多どんたくまつり、鑑真大和上まつり、津まつり) (2)日本三津交流会議 ・毎年1回3市町が参加して、交流計画等について協議している。</p> <p>3. 高虎公ゆかりの地交流事業 (1)まつり交流 ・高虎公ゆかりの市町が、互いのまつりに民間団体の派遣等を行い、交流している。 粉河町(和歌山県) 甲良町(滋賀県) (2)高虎サミット ・高虎公ゆかりの市町等が参加し、原則隔年毎に事業を開催している。 ①交流会 ②物産展 ③各種フェスティバル ④情報交換</p>	<p>1. 新都市連絡協議会関係事務 ・昭和45年に市制を実現した同期市6市(北海道登別市、新潟県豊栄市、東京都福生市、三重県久居市、滋賀県守山市、山口県新南陽市)で連絡調整を図り研究討議する。昭和55年、市制施行10周年を記念し設立。災害時における相互応援協定(平成7年11月9日)、友好交流都市提携(平成13年11月21日)を締結し、6市間の情報交換、交流を実施している。(新南陽市は合併により周南市となり平成15年4月に離脱)</p> <p>2. 友好都市新南陽市(現周南市)交流事業 ・両市小学生の交流事業(ホームステイ)を毎年1回、相互訪問により実施。両市スポーツ少年団の交流事業を毎年1回、相互訪問により実施。物産交流の実施。(久居まつりへの新南陽市物産の出展等)</p>	<p>河芸っ子交流 ・史実などに基づく地域間交流として行っている。 3セク鉄道沿線である縁で岐阜県根尾村と、戦国の武将分部公が河芸から移封(国替)された縁で同県高島町と、それぞれ「河芸っ子交流」と名付けられた交流が始められた。毎年、各町村20人ずつの子供たちがマリーナ河芸に集い、潮干狩りなど海に親しむ行事を行っている。</p>	-	-	<p>八百比丘尼サミット ・八百比丘尼サミット関係市町村連絡協議会(全国10市町村で構成) ・事務局一福井県小浜市 ・サミットは隔年開催 ・担当課長会議は毎年開催</p>
	<p>H15予算額 :2,426千円 1. 友好都市上富良野町交流事業 321千円 2. 日本三津交流事業 3. 高虎公ゆかりの地交流事業</p>	<p>H15予算額:369千円(2. 友好都市新南陽市交流事業)</p>	<p>H15予算額:300千円</p>			<p>H15予算額:20千円</p>

## 津地区合併協議会 調整内容表

調整の内容	1. 新市に移行後、速やかに調整する。(合併後1年程度)
-------	------------------------------

構 成 市 町 村 の 現 況				調整の具体的内容
香良洲町	一志町	白山町	美杉村	
白山町の仲介で、岐阜県東白川村と平成元年6月に提携し、海と山の町村交流が始まった。住民が相互のイベントに参加している(香良洲町のイベント「ふれあいのかおり」等)。	-	-	-	交流事業については存続する。 ただし久居市事業のうち、新都市連絡協議会からは離脱の方向で調整する。
H15予算額: 50千円 ※合併後は予算計上しない				

## 津地区合併協議会 調整内容表

協議項目		専門部会	市民部会
関係項目		分科会	国際交流分科会

区分	構 成 市 町 村 の 現 況					
	津 市	久 居 市	河 芸 町	芸 濃 町	美 里 村	安 濃 町
2 国際交流推進計画	ブラジルの姉妹都市(オザスコ市)、中国の友好都市(鎮江市)との交流の充実を図り、国際化に対応できる「まちづくり」を推進するために、平成4年6月に策定した。 本計画で策定された事項の実現・充実を目指している。	-	-	-	-	-
3 三重県国際交流財団	在住外国人との交流内容及び在住外国人に対する生活相談等について三重県国際交流財団と連携を図っている。	同左	同左	同左	-	津市に同じ
4 公共施設等の案内表示への外国語併記	津市関連施設については、外国人の利用頻度の高い部分から整備を進めており、今後さらに整備箇所や使用言語の充実・拡大を促進していく。	-	-	-	-	-
5 三重県日中友好協会及び日中友好促進三重県民会議	三重県日中友好協会、日中友好促進三重県民会議の賛助会員となっている。 ・同協会負担金 20,000円/年 ・同会議負担金 50,000円/年	同協会賛助会員、同会議顧問となっている。 ・同協会負担金20,000円/年 ・同会議負担金10,000円/年	同協会賛助会員となっている。 ・負担金 20,000円/年	同左 ・負担金 20,000円/年	-	-

## 津地区合併協議会 調整内容表

調整の内容	2. 新たに計画を策定する。(合併後3年程度) 3. 津市、久居市等の例により調整する。(合併と同時) 4. 津市の例により調整する。 5. 新たに加入する。(合併と同時)
-------	---

構 成 市 町 村 の 現 況				調整の具体的内容
香良洲町	一志町	白山町	美杉村	
-	-	-	-	新市の国際交流推進計画が策定できるまでは、津市の国際交流推進計画を基本とした推進計画を実施していく。
-	-	-	-	
-	-	-	-	津市の例を基に新市全体に広げていく。
-	-	-	-	

## 津地区合併協議会 調整内容表

協議項目		専門部会	市民部会
関係項目		分科会	国際交流分科会

区分	構成市町村の現況					
	津市	久居市	河芸町	芸濃町	美里村	安濃町
6 国際交流事業 (姉妹都市交流事業)	津市国際交流協会とともに、交流事業を行っている。 1. 昭和51年に姉妹提携締結のブラジル・オザスコ市との記念イベントやスポーツ大会の開催 ・オザスコ市友好の日の事業「在住外国人と市民の集い」 ・オザスコ杯争奪サッカー大会 2. 訪伯民間団体への助成 訪伯する個人・団体に、それぞれ2万円・10万円を限度として助成する。	-	-	-	-	-
	H15予算額 : 328千円 (うち国際国流協会への補助金 : 220千円)					
7 国際交流事業 (友好都市交流事業)	津市国際交流協会とともに、昭和59年に友好提携締結の中国・鎮江市との交流事業を行っている。 1. 公式団相互派遣 2. 記念イベントやスポーツ大会の開催 ・鎮江市友好の日の事業「中国写真・絵画展」 ・鎮江杯争奪卓球大会 3. 訪中民間団体への助成 訪中する個人・団体に、それぞれ2万円・10万円を限度として助成する。 4. 青少年の派遣・受入 ・相互ホームステイ事業 5. 訪中市民団の派遣	-	平成3年、中国鄭州市邙山区と河芸町が友好提携締結。 (議会議決はなし) 以後、河芸町国際交流協会とともに友好交流を行っている。 1. 訪日団受入れ 2. 中国語講座の開講 3. 交流会(年4回程度)開催	-	-	-
	H15予算額 : 7,398千円 (うち国際交流協会への補助金 : 4,828千円)					



## 津地区合併協議会 調整内容表

調整の内容	6. 津市の例により調整する。(合併と同時) 7. 新市に移行後、速やかに調整する。(合併後1年程度)
-------	--

構成市町村の現況				調整の具体的内容
香良洲町	一志町	白山町	美杉村	
-	-	-	-	
-	-	-	-	
-	-	-	-	
-	-	-	-	

・鎮江市については、そのまま新市に引き継ぐ。  
 ・邨山区については、新市発足後速やかに調整する。

## 津地区合併協議会 調整内容表

協議項目						専門部会	市民部会
関係項目						分科会	国際交流分科会
区分	構成市町村の現況						
	津市	久居市	河芸町	芸濃町	美里村	安濃町	
8 国際交流一般事業  ※協議会協議項目	津市国際交流協会等とともに、各種事業を行っている。(1,2,11は市単独事業、8,9はホームステイ・津実行委員会との共催事業) 1. 生活ガイドブックの発行:日本語のほか、英語・中国語・ポルトガル語・ハンダ語を併記して発行 2. 津市国際交流ボランティア補助金の交付 3. 三重大学等留学生生活支援事業 4. 語学講座の開催 ・英語講座(初級・中級)、中国語講座(初級・中級) ・日本語講座(毎週日曜日開講) 5. サッカー大会の開催 6. 茶道・華道・着物等の日本文化を紹介 7. 広報事業:国際交流に関する情報の収集・提供等 8. ワイワイガヤガヤフェスタの開催 9. 名古屋大学留学生ホームステイ受入	在住外国人との交流事業、在住外国人への生活支援等を行っている。 市単独事業は、生活ガイドブックの発行、久居市国際交流協会への補助等。 久居市国際交流協会事業は、国際交流情報の収集・提供、国際交流事業の実施、日本語講座の開催。 《国際交流事業》 1. アンデスのしらべ 2. 久居まつり参加 3. クリスマス会 4. アジアのお正月 5. 日本語教室交流会	国際交流基金(21,114千円)について、目的・趣旨等は特に定められていない。 基金創設のいきさつは、平成元年のふるさと創生資金(自治体毎に交付された1億円)の一部が積み立てられたもので、その後寄付等で徐々に増えて現在に至っている。 協会事業 1. 英語講座の開講 2. 各種交流会、協賛事業への参加				
	10. 青少年海外派遣(公募抽選=自己負担で実施) ・夏期休暇期間中の中学生・高校生オーストラリアホームステイ体験・交流(中高60人ずつ程度)		中学生の海外派遣事業 毎年、友好都市へ中学生4人(町が費用の2/3負担)を7日間派遣している。	中学生の海外派遣事業 毎年8人と引率2人を、アメリカ・カリフォルニアに8日間派遣している。(約2/3を町が負担)	中学生の海外派遣事業 村単独事業で中学3年生を対象にオーストラリア・ブリスベンへのホームステイを実施。生徒10人、引率者3人、期間は10日間で、費用の半額を村の一般財源から補助。	中学生の海外派遣事業 国際交流基金創設の際は、全体の約半額について、町内の企業1社から、同基金を青少年の海外派遣など人材育成の目的で活用することを条件に寄付を受けた。 毎年8月に、中学生12人と引率者2人の14人をオーストラリアに10日間派遣している。	
	11. 津市国際交流事業補助金の交付 (上限:一般30万円、学校10万円) ・海外派遣事業 ・外国人招致事業 ・国内での交流事業						
	津市国際交流協会 【代表】柳瀬恒範(日中友好協会津支部会長) 【設立】平成7年6月 【事業(規約上)】1. 姉妹・友好都市との交流 2. 調査研究 3. 情報収集、広報、啓発 4. その他	久居市国際交流協会 【代表】秋田健 (上海市に日本語文庫をつくる会会長) 【設立】平成10年3月 【事業(規約上)】 1. 啓発 2. 各種交流事業計画・実施 3. その他	河芸町国際交流協会 【代表】熊谷教枝 【設立】平成2年12月 【事業(規約上)】 1. 事業の実施 2. 啓発、啓蒙 3. その他				
	国際交流推進基金残高:218,493千円		国際交流基金残高: 21,114千円			国際交流基金残高: 112,460千円	
H15予算額 :3,505千円 (うち国際交流協会への補助金:550千円)	H15予算額:1,000千円 (うち国際交流協会への補助金:700千円、日本語教室委託金:300千円)	H15予算額:600千円 (国際交流協会への補助金:600千円・友好都市事業を含む)	H15予算額:3,250千円(教育費)	H15予算額:3,000千円	H15予算額:3,000千円		

## 津地区合併協議会 調整内容表

調整の内容	8			
構 成	市 町	村 の	現 況	調整の具体的内容
香良洲町	一志町	白山町	美杉村	
-	-	国際交流事業JETプログラム 国際交流員(CIR)を14年度か ら招致している。	就労や観光のために外国人が 滞在することが多いため、英語 版とポルトガル語版の生活ガイド ブックを1999年に作成し、常設し ている。	
			中学生の海外派遣 毎年3年生全員を5日間、中国 北京市等へ派遣 1人10万5千円は全額村が負 担、引率6人を含む。 H14実績 64人、6,720千円	
			(人材育成基金残高:91,738千 円・種々の事業に取りくずして充 当)	
		H15予算額:約5,000千円 (地方交付税措置あり)	H15予算額:7,140千円	